

お引越しパック専用

BCPOS[®] ver 2.9-3.0

インストール マニュアル

Star プリンター × RS232C カスタマディスプレイ

BUSICOM

Windows 32bit 対応



① BCPOS のインストール

BCPOS Ver2.9 は、windowsVista/7(32bit)OS までしか対応しておりません。Windows7(64bit)Windows8の場合は、BCPOS Ver4.2をインストールしてください。

1-1 新規 BCPOS のインストール

※各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください。
(周辺機器の接続方は、P-10 「②周辺機器の設定 TSP100 編 (RS232C カスタマディスプレイ) 」を参照してください)

■手順 1

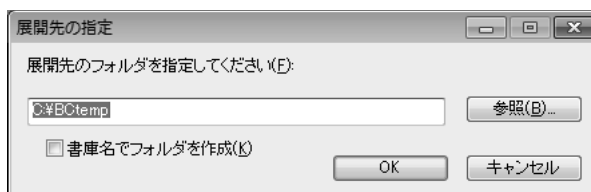
右図が表示されますので [はい] を押します。



■手順 2

インストールに必要なファイルを展開する場所の指定画面が表示されます。特別な理由がない限り、そのまま [OK] を押してください。

※ここで他のフォルダを指定した場合には、自動的にセットアップが起動しませんので、P.19 の ※トラブルシューティングを実行してセットアップを起動する必要があります。



■手順 3

[展開先フォルダ作成画面] が表示されます。[OK] を押してください。



■手順 4

ファイルの展開が完了すると [BCPOS セットアップ] (右図) が表示されます。

※ OS の環境により、[SETUP.EXE] の実行を許可するかキャンセルするかの確認画面が表示されますが、許可してすすめてください。



1-2 BCPOS セットアッププログラムのインストール

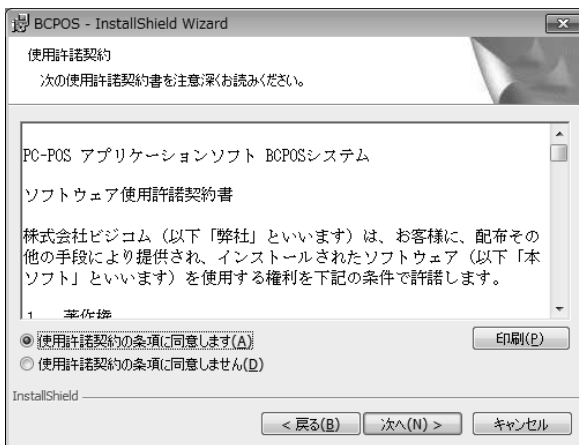
■手順 1

[セットアップ] (下図) が表示されたら [セットアップ] を押します。



■手順 2

[使用許諾契約] が表示されます。
[使用許諾契約の条項に同意します (A)] にチェックを入れて、[次へ] を押します。



■手順 3

[ユーザーの情報] が表示されたら名前と会社名を入力し、[次へ] を押します。
会社名は省略可能です。



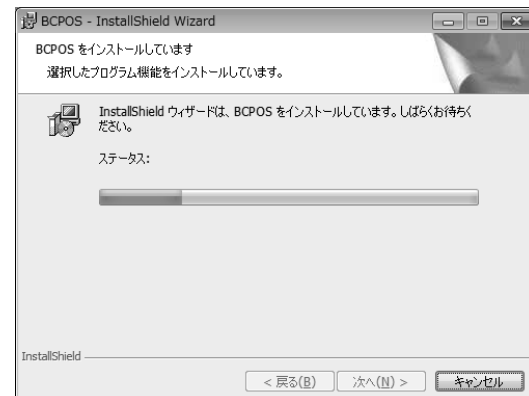
■手順 4

[インストール先の選択] が表示されますので [次へ] を押します。



■手順 5

インストールが開始されます。暫くお待ちください。



■手順 6

[セットアップ完了] が表示されます。
[完了] を押します。



■手順 7

コンピュータを再起動します画面の「はい」を押します。

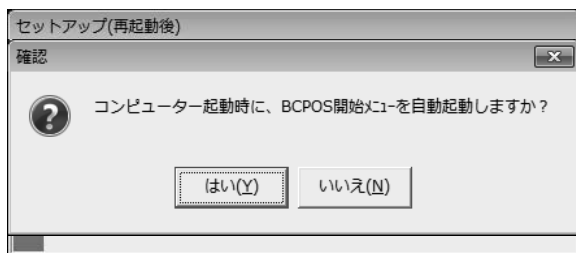


手順 8 が始まらない場合は P-18 へ

※ 下記手順8の「確認」、BCPOS のセットアップが自動で始まらない場合は「トラブルシューティング」P-18 へ

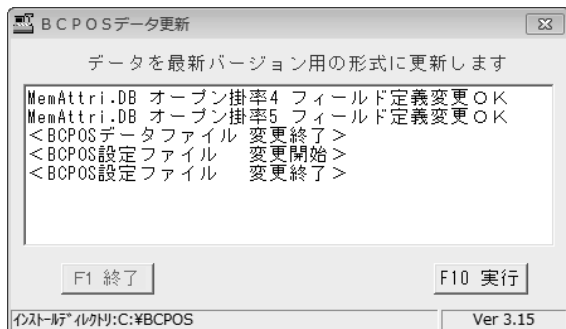
■手順 8

手順 7 においてコンピュータが再起動から立ち上がりと同時に下図「確認」ダイアログが表示されます。「はい」を選択するとコンピュータの起動後、自動的に BCPOS の開始メニューが起動する設定になります。自動的に BCPOS の開始メニューを表示させたい場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。



■手順 9

「BCPOS データ更新」が表示され、データが更新されます。「情報」ダイアログが表示され、データ変換が正常に行われたら「OK」を押します。



■手順 10

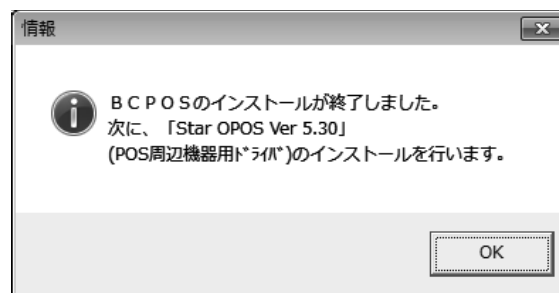
「情報」ダイアログが表示され、インストールが終了したら「OK」を押します。



以上で BCPOS プログラムのインストール及び自動起動設定は完了です。

続いて周辺機器セットアッププログラムのインストールを行います。

下の画面が表示されます。「OK」を押してください。



次項「周辺機器のセットアッププログラムのインストール」を実行してください。

1-3 周辺機器のセットアッププログラムのインストール

周辺機器のセットアッププログラムをインストールします。

■手順 1

[Set up ウィザード] が開きますので [次へ] を押します。



■手順2

[ユーザー情報] の入力画面になりますので、ユーザー情報を入力して [次へ] を押します。(ユーザー名は必須)



■手順3

セットアップタイプ画面が開きます。

[標準] にチェックを入れて [次へ] を押します。



■手順 4

[プログラムをインストールする準備ができました]が開きますので[インストール]を押します。



■手順 5

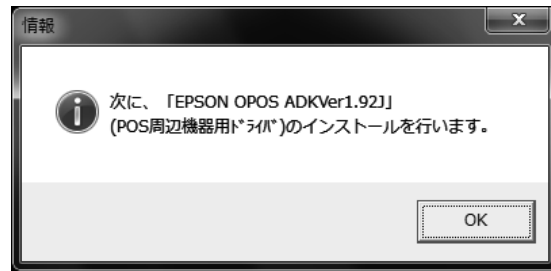
[InstallShield] ウィザードを完了しましたと表示されますので[完了]を押して終了します。ここで一旦画面が閉じます。

続いて、カスタマディスプレイドライバのインストールが開始されます。



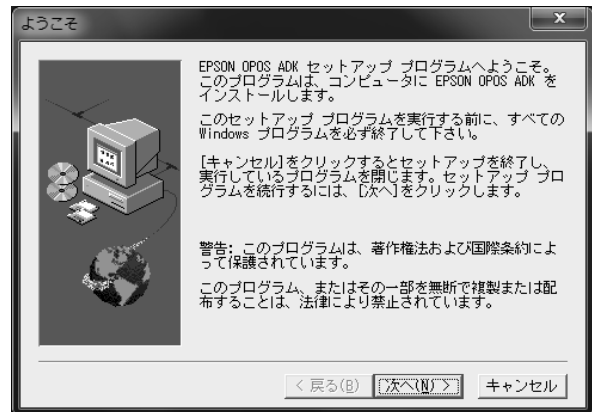
■手順 6

[情報] ダイアログが表示されるので、[OK] を押します。



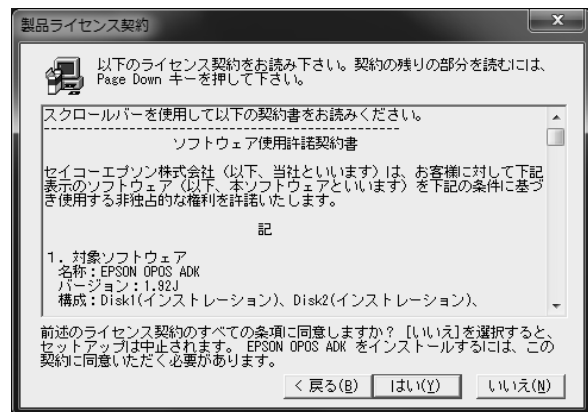
■手順 7

[ようこそ] ダイアログが表示されたら [次へ] を押します。



■手順 8

[製品ライセンス契約] が表示されたら、[はい] を押します。



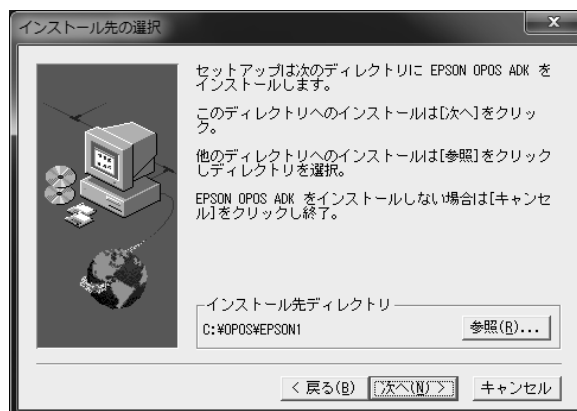
■手順 9

[ユーザーの情報]が表示されます。名前と会社名を入力し、[次へ] を押します。
※会社名は省略できませんので、何かしら入力してください。



■手順 10

「インストール先の選択」が表示されます。
そのまま「次へ」を押します。



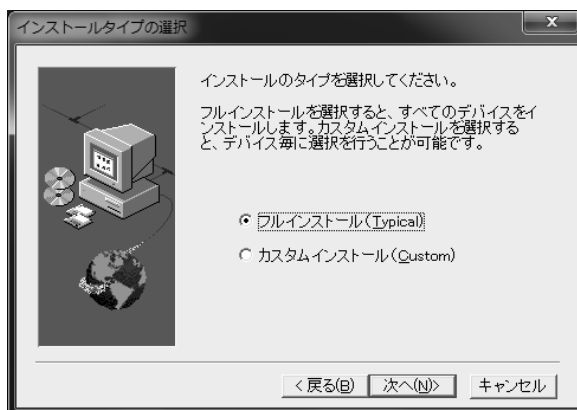
■手順 11

「プログラムフォルダの選択」が表示されます。
「次へ」を押します。



■手順 12

「インストールタイプの選択」が表示されます。
通常は「フルインストール」を選択し「次へ」を押します。



■手順 13

「インストールに関連する情報」が表示されます。
「次へ」を押します。



■手順 14

[OPOS 情報の設定] が表示されます。
[次へ] を押します。



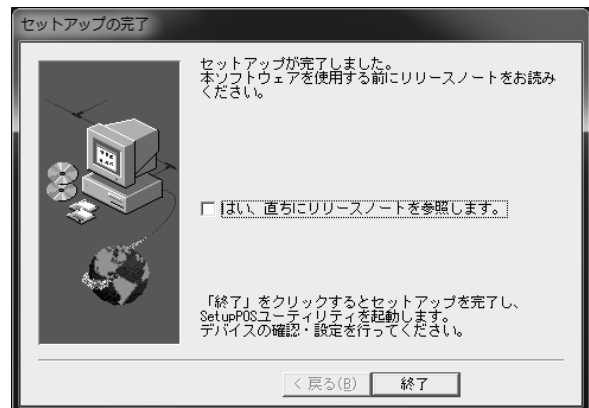
■手順 15

[ファイルコピーの開始] が表示されます。
[次へ] を押します。



■手順 16

[セットアップ完了] が表示されたら[終了]を押します。
完了メッセージと共に『EPSON Setup POSを起動しますか?』
の確認メッセージが表示されますので、[ハイ] を押します。



■手順 17

[SetupPOS] が起動します。

※ [SetupPOS] を閉じないでください。



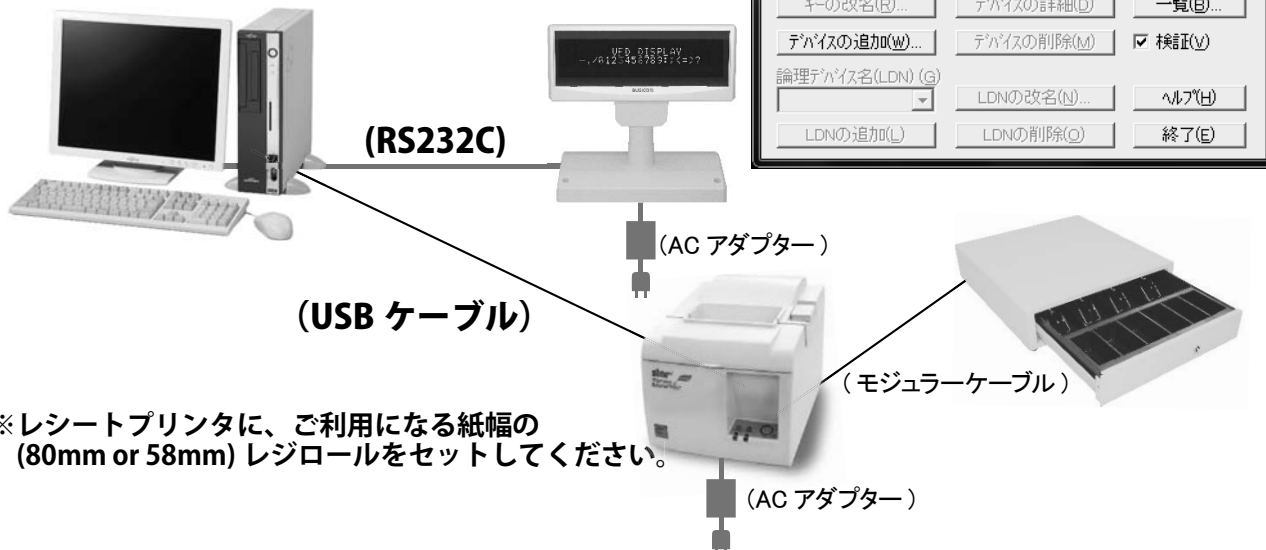


② 周辺機器の設定 TSP100 編 (RS232C カスタマディスプレイ)

2-1 周辺機器の接続 (TSP100)

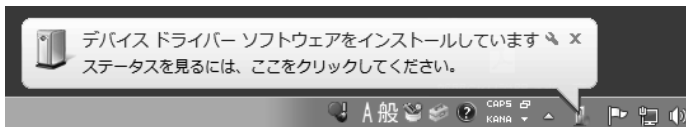
周辺機器を下図のように接続します。

前項で表示した右図 [EPSON OPOS ADK] の画面を閉じないで、周辺機器をパソコンに接続します。



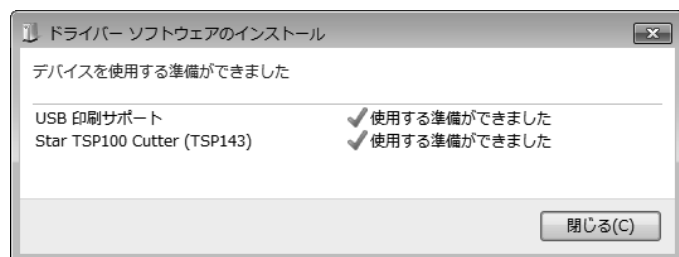
※レシートプリンタに、ご利用になる紙幅の (80mm or 58mm) レジロールをセットしてください。

レシートプリンタをパソコンに接続すると、
下図がパソコンの右下に表示されます。ステータスを表示する場合は、押してください。



【注意】

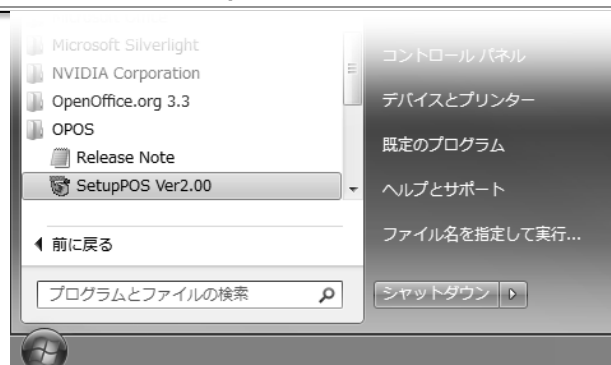
[ドライバソフトウェアのインストール] が表示されます。[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●) インストール] と表示されます。確認等で必用になる場合がありますので、左 [COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。



※ トラブルシューティング (SetupPOS の表示方法)

※ BCPOS のインストールした後、自動的に OPOS の設定画面になりますが、インストール後に設定し直したい場合、又は自動的に OPOS 画面にならなかった場合は Windows スタートボタンから [SetupPOS] を起動してください。

Windows 画面左下の [スタート] を押し、[プログラム] → [OPOS] → [SetupPOS] を選択し実行し、前項の手順1から、順番に設定を行ってください。



2-2 RS232C カスタマディスプレイの設定

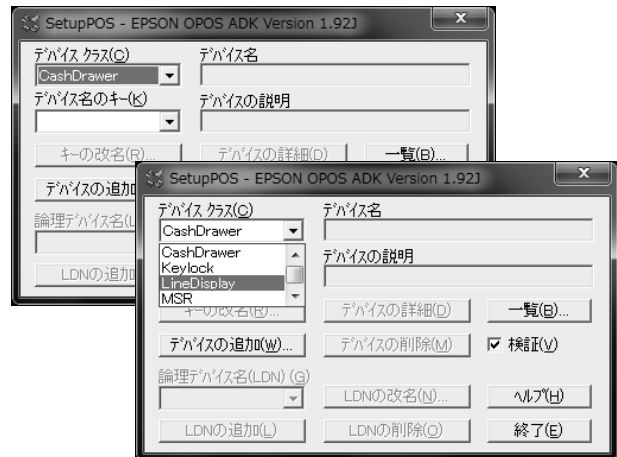
RS232C カスタマディスプレイ設定を行います。

※ [SetupPOS] が閉じている場合には、前項のトラブルシューティングを参照してください。

■手順 1

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示されます。

左上の [デバイスクラス] のプルダウンメニュー▼を押し、[Line Display] を選択します。



※右画面 [SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] が表示されない場合は、次項の (注意) の手順で、[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] を表示してください。

■手順 2

画面中程の [デバイスの追加] を押します。



■手順 3

[デバイスの追加] が表示されます。

[追加するデバイスを選択] のプルダウンメニュー▼を押し、[DM-D101] を選択して [追加] を押します。



■手順 4

[SetupPOS-EPSON OPOS ADK Version1.92J] 画面に戻ります。

[デバイス名 : DM-D101]

[デバイスの説明 : EPSON DM-D101 LineDisplay]

となっていることを確認したら [終了] を押します。



注) パソコンにシリアルポート (COM) が無い為に変換ケーブルを使用する場合は、別途お問合せください。

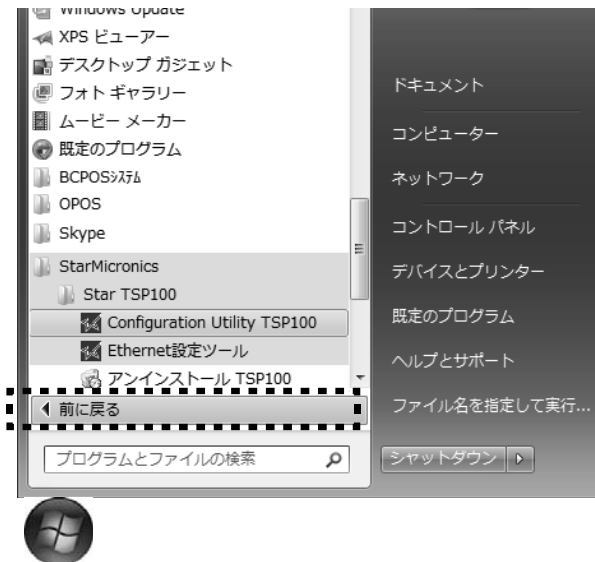
以上でカスタマディスプレイの設定手順1は終了です。

2-3 レシートプリンタ・ドロワの設定 (TSP100 共通)

レシートプリンタ (TSP100 シリーズ) の設定を行います。

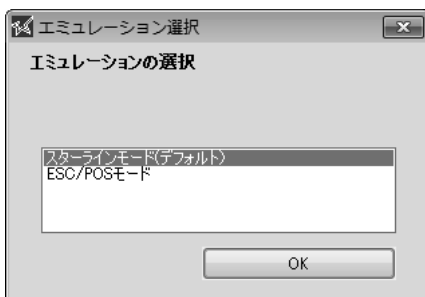
■手順 1

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを押)、「すべてのプログラム」内の [Star Micronics] フォルダ [Star TSP100] フォルダ [Configuration Utility] を押します。



■手順 2

[エミュレーションの選択] が表示されます。[OK] を押してください。



■手順 3

下図 [インフォメーション] が開きます。



※レジロールの紙幅が 80mm と 58 mm の場合は [手順 4] [手順 6] が異なります。
 (BCPOS の設定については、P-18「解説・・・」を参照して、後ほど設定してください)

■手順 4 (プリンタの設定)

左メニューより [プリンタ設定] を押します。

プリンタ設定 (スターラインモード) 画面に変わりますので、

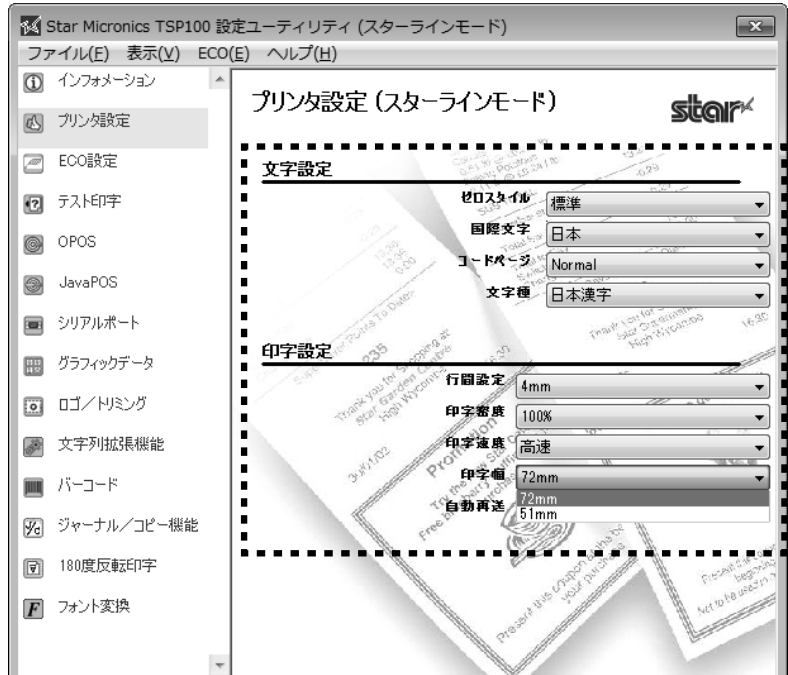
- ・文字設定の [国際文字] プルダウンメニューから [日本] を選択します。
 [文字種] プルダウンメニューから [日本漢字] を選択します。

【レシートが 80 mm の場合】

- ・印字設定の [印字幅] プルダウンメニューから [72mm] を選択します。

【レシートが 58 mm の場合】

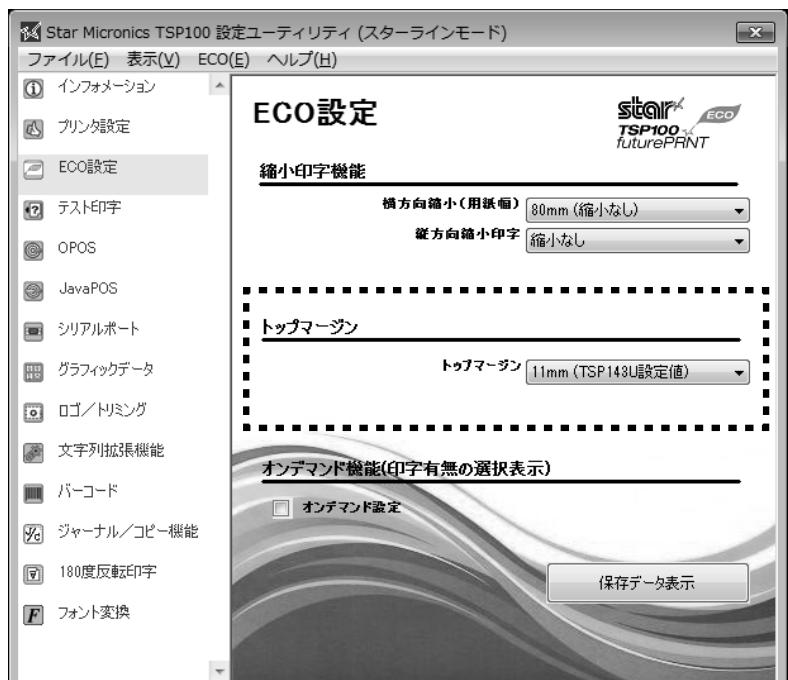
- ・印字設定の [印字幅] プルダウンメニューから [51mm] を選択します。



■手順 5 (レシートの上部余白設定)

左メニューより [ECO 設定] を押します。

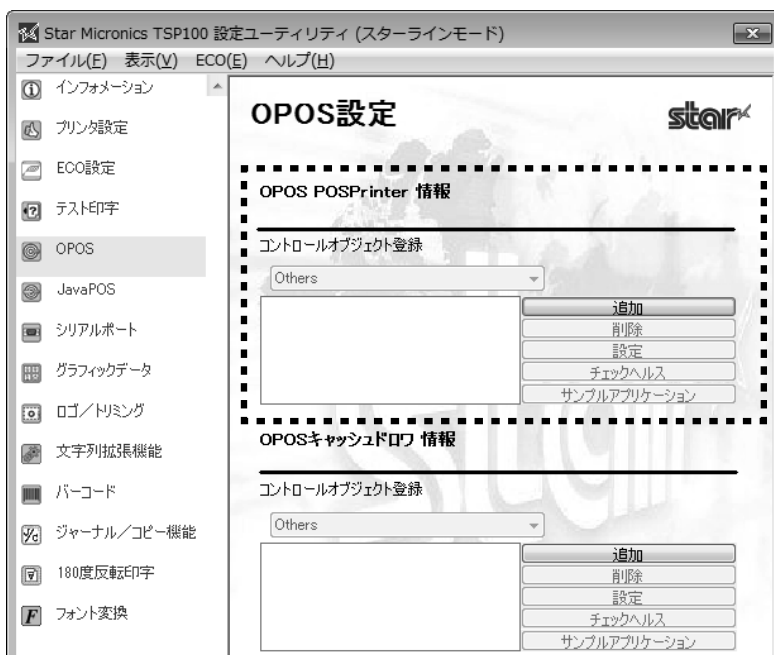
ECO 設定画面に変わりますので、[トップマージン] をプルダウンメニューから [11mm (TSP143U 設定値)] を選択します。



■手順 6-1 (OPOS 設定プリンタ)
左メニューより [OPOS] を押
します。



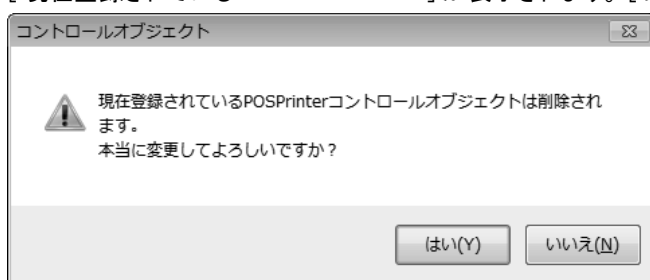
OPOS 設定画面に変わりますので、[OPOS POSPrinter] の [追加] を押
します。



■手順 6-2 (OPOS 設定プリンタ)
[コントロールオブジェクト] が表示された場合 [はい] を押します。



■手順 6-3 (OPOS 設定プリンタ)
[現在登録されている POS] が表示されます。[はい] を押します。



■手順 6-4 【レシートが 80 mm の場合】
[OPOS デバイス追加] が表示されます。
[印字幅] の [72mm] にチェックをいれます。
180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押します。
※名前は必ず [Star] と入力してください。

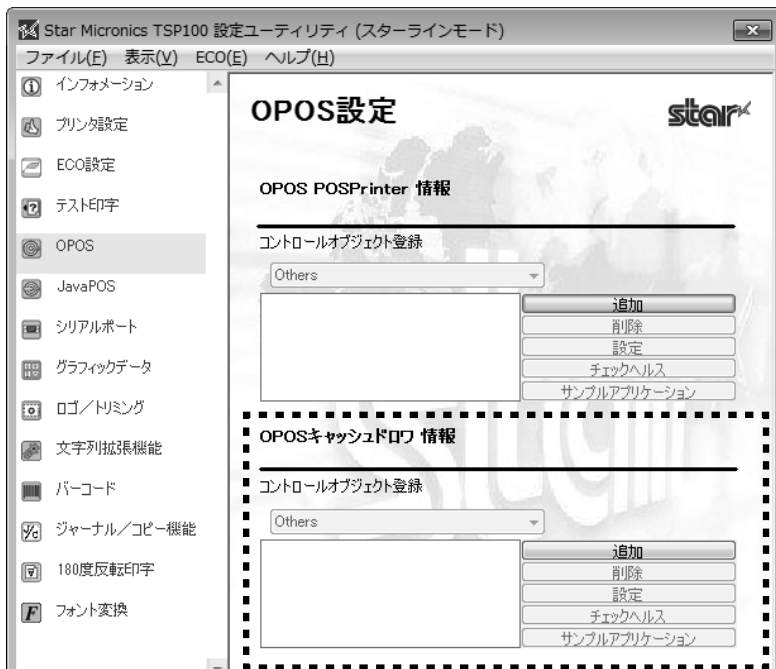


■手順 6-4 【レシートが 58 mm の場合】
[OPOS デバイス追加] が表示されます。
[印字幅] の [51mm] にチェックをいれます。
180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押します。
※名前は必ず [Star] と入力してください。



■手順 7-1 (OPOS 設定ドロウ)

OPOS 設定画面の [OPOS キャッシュドロウ] の [追加] を押します。



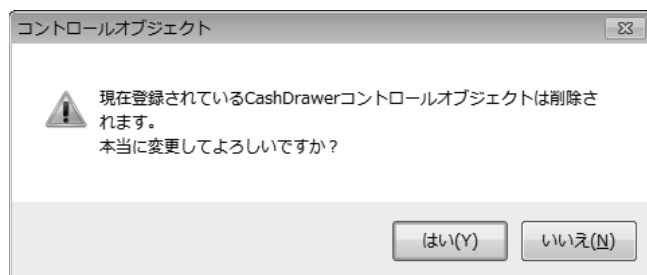
■手順 7-2 (OPOS 設定ドロウ)

[コントロールオブジェクト] が表示された場合 [はい] を押します。



■手順 7-3 (OPOS 設定ドロウ)

[現在登録されている Cash] が表示されます。[はい] を押します。



■手順 7-4 (OPOS 設定ドロウ)

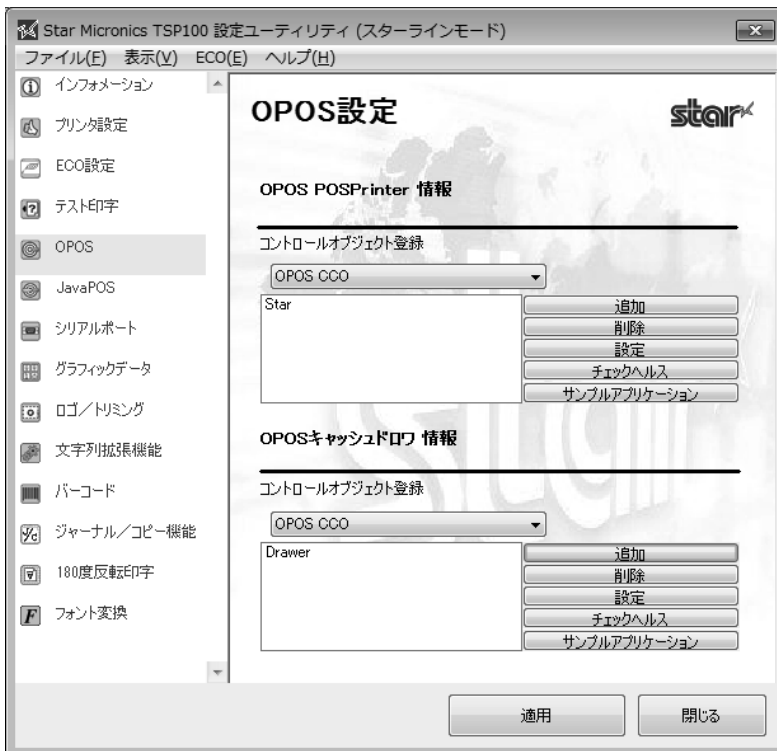
[OPOS キャッシュドロウ追加] が表示されます。新しいデバイス名を [Drawer] として [OK] を押します。

※名前はず [Drawer] と入力してください。



■手順 8

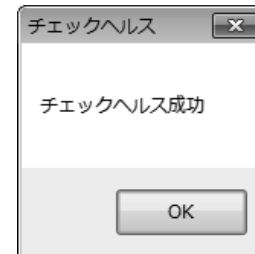
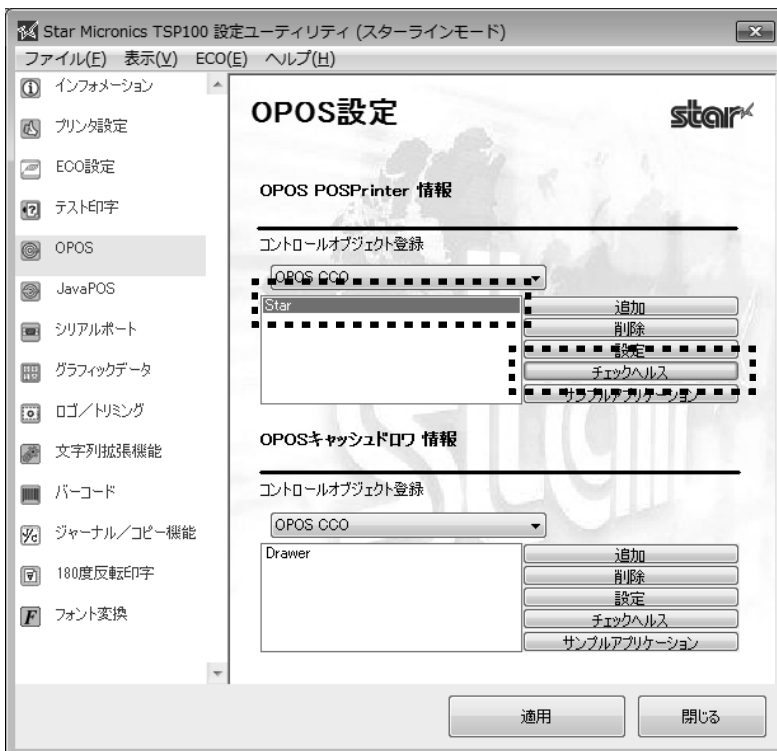
[OPOS 設定] 画面に戻りますので [適用] を押します。



■手順 9 (チェックヘルスの実行)

追加された [Star TSP・・・] を選択後、POS Printer の [チェックヘルス] を押してください。

チェックヘルス画面に [チェックヘルス成功] と表示され、レシートプリンターから印字見本のレシートが出力され、キャッシュドロフが OPEN すれば設定は終了です。



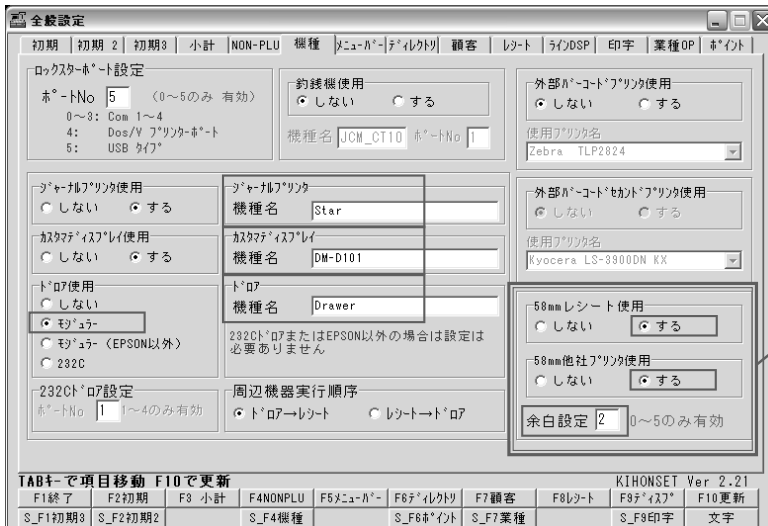
解説 (レシート幅 [80mm or 58mm] の違いによる BCPOS 機種設定について)

下記設定は、後述 [基本設定] でも説明しております。

デフォルトの設定は 80mm のレシート設定になっていますので、58mm 設定を行った場合は下記を参照して設定してください。

デスクトップの BCPOS ショートカット「開始メニュー」→「基本設定」→「全般設定」→「機種」タブを開きます。
「ジャーナルプリンタ」の機種名欄に「Star」を入力し、「カスタムディスプレイ」の機種名欄に「DM-101」を入力します。
同様にドローフ使用を「モジュラー」に設定し、機種名は「Drawer」と正しく入力して「F10 更新」を押します。

※ 「デバイス名」正確に設定しないと、レジ画面の起動時にエラーになります。



58mm 幅のレシートを使用する場合は図のように設定します。

解説 (レシートの印字実行 / 中止を選択する機能)

オンデマンド機能

本機能により、印字の実行 / 中止を選択することで、不要な印字分の用紙を節約できます。

■ オンデマンド設定

オンデマンド機能を有効にする時、チェックボックスを選択します。オンデマンド有効後は、コンピュータからプリンタへデータが送られるたびに以下の確認画面が表示されます。

[YES] を押すと、印字が実行されます。

[NO] を押すと、印字はキャンセルされます。

通常、確認画面は印字を行う前に表示されますが、まれに、表示されない、または印字後に表示されてしまうなど、正しい動作をしない場合があります。その場合は、お手数ですが、コンピュータを再起動してください。

再起動後、オンデマンド機能を有効にして確認画面が正しいタイミングで表示されていることをご確認ください。

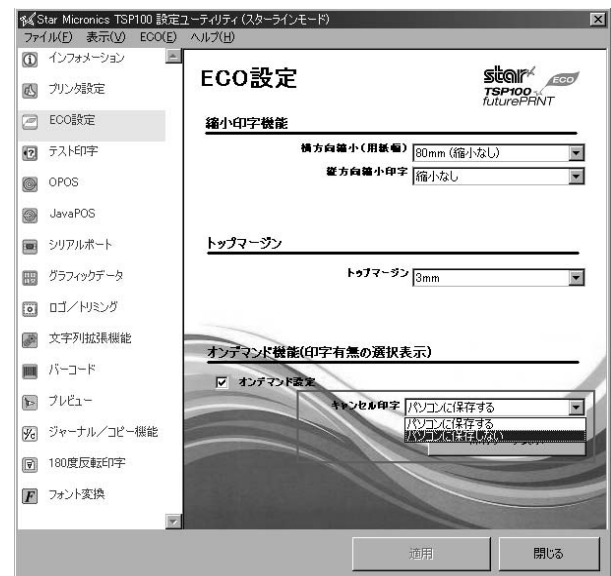
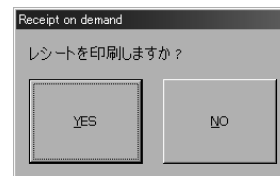
■ キャンセルデータの保存

オンデマンド有効時に印字をキャンセルした場合、そのデータの保存方法を選択できます。

「パソコンに保存しない」を選択した場合、キャンセルデータはそのまま消滅します。

「パソコンに保存する」を選択した場合、キャンセルデータは保存されます。

フォルダに保存されたデータは時間が経過しても自動的に削除されません。



※ BCPOS のジャーナル点検のレシート再発行より、印字キャンセルしたレシートの発行が可能です。



※ トラブルシューティング (BCPOS インストールが始まらない)

**[BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合
(自動的に BCPOS のセットアップが始まらない場合)**

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。



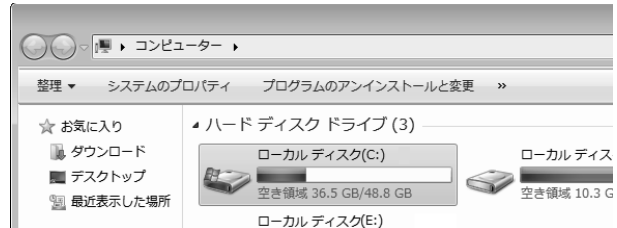
コンピューター

■手順 1

マイコンピュータを開きます。

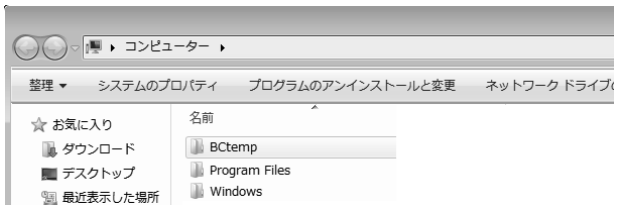
インストール用ファイルを展開したドライブを開きます。

※マイコンピュータは、キーボードを下図の様に押す事で、表示できます。



■手順 2

[BCtemp] フォルダを開きます。



■手順 3 (CD-ROM & WEB 共通)

[SETUP] フォルダを開きます。



■手順 4 (CD-ROM & WEB 共通)

[Setup.exe] ファイルを開きます。

※同名ファイルがありますが、BC アイコンのファイルを実行してください。



■手順 5 (CD-ROM & WEB 共通)

[BCPOS セットアップ] ダイアログ (左図) が表示されたら[セットアップ] ボタンを押します。





※ トラブルシューティング (レジ画面がトレーニングモードになる)

レジ画面がトレーニングモードになる場合には、下記の事項が該当します。

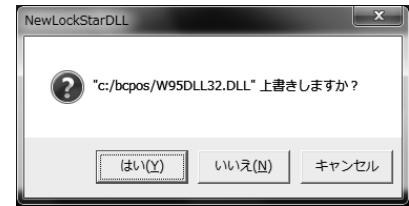
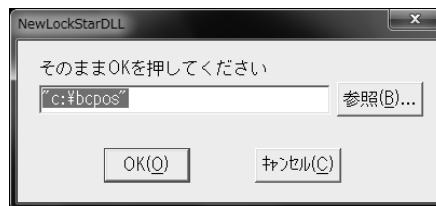
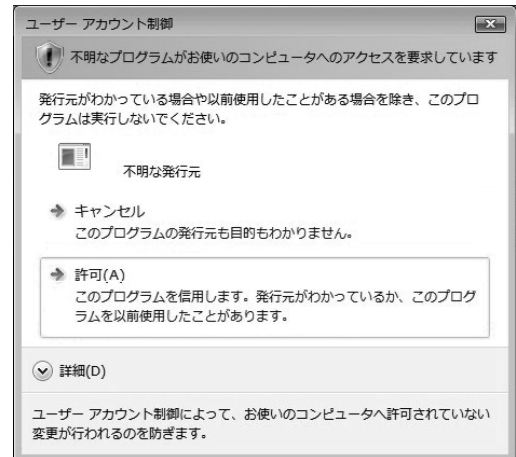
- ① ロックスターが抜けている。
ロックスターを一旦抜いて、再度差込んでください。
- ② ロックスターが認識されない。
ロックスターを一旦抜いて、別の USB ポートに接続してください。
- ③ 期限パスワードが切れている。
次項 [期限パスワードの更新] を実行してください。
- ④ 下記手順を実行してください。

■ 手順 1

[マイコンピュータ] - [ローカルディスク (C)] - [BCPOS] - [TOOL] - [USB LockStar] - [NewLockStarDLL-2.EXE] を 2 回押します。
[認識出来ないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています] が表示されたら [許可] を押します。

■ 手順 2

[OK] ボタンを押します。
その際上書の確認が表示された場合は [はい] を押してください。



※ 上記手順①・②・③・④を実行して改善されない場合は、巻末のサポートデスクへご連絡ください。



■ ロックスターの設定 ■

お客様毎に異なる様々なご契約内容をロックスターとパスワードで管理させていただいております。ご利用期限やご契約いただいたオプション機能の ON/OFF の制御をする為の鍵がロックスターであり、パスワードと連携してお客様の認識を行っております。

※ロックスターとパスワードについて※

ロックスターをコンピュータが認識した上でないとパスワードが無効となる仕組みになっています。万が一故障した場合、新しいロックスターをお渡しいたします。再度、パスワードの設定を行うことにより今までどおり使用できます。

尚、故障したロックスターは弊社までご返却をお願いします。

3-1 ロックスターのインストール



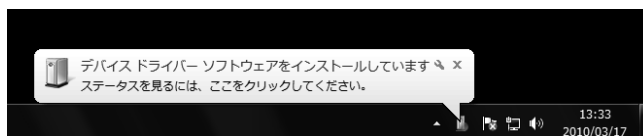
WindowsXP・WindowsVista・Windows7 ではロックスターを USB ポートに挿入すると自動的に認識します。

※ USB ロックスターを接続する際は、パソコン側の USB 差込口を良く見てから挿してください。

無理に挿そうとすると故障、破損の原因となります。(注：破損の場合は有償交換になります。)

■手順 1

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。自動的にハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。



■手順 2

ドライバのインストール終了後、完了画面が表示されます。以上でロックスターのインストール作業は終了です。



※※※ ドライバがインストールされたのか確認方法は以下の通りです。 ※※※

■手順 1

[Ctrl] を押しながら [マイコンピュータ] を押し (右クリック)、[プロパティ] を押します。



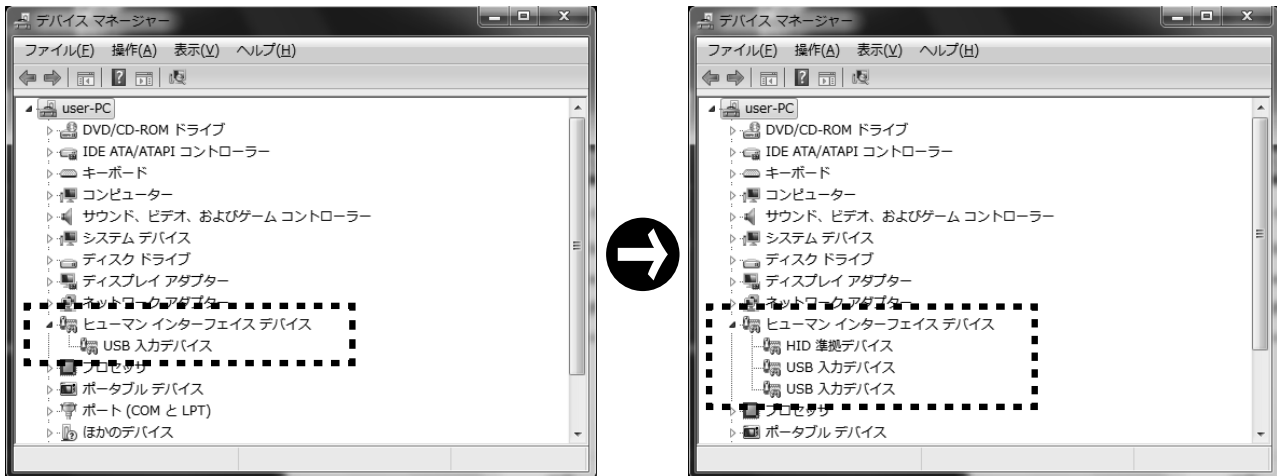
■手順 2

[システムのプロパティ] 画面の [ハードウェア] を押し、画面左にある [デバイスマネージャー] を押します。(XP の場合は画面中央にあるデバイスマネージャボタンを押します。)



■手順 3

[USB ヒューマン インターフェイス デバイス] が増えれば
ドライバは正常にインストールされています。



注) ロックスター番号が～ 7499 までの場合（形状については下図参照）には、ロックスターの変更（有償）が必要です。別途お問合せ下さい。





■ 期限パスワードの更新 ■

期限パスワードとは POS システムの有効期限を設定するためのパスワードです。

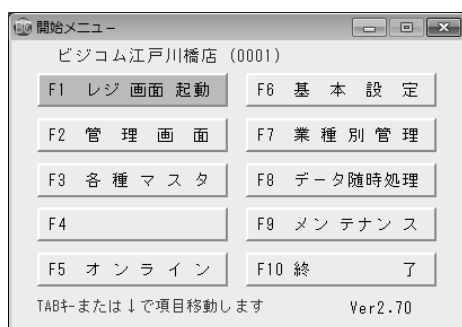
レントウェアでご利用の場合、半年または 1 年毎にパスワードを入力して、利用可能期限を更新する必要があります。(各種オプションに変更があった場合はその都度になります)

通常、レントウェアのご契約を更新する場合、期限が切れる前に新しいパスワードを郵送でお送りします。(買取でご利用の場合はこの限りではございません)

期限パスワードを更新することにより、利用期間の延長やオプションの変更を行います。

■ 手順 1

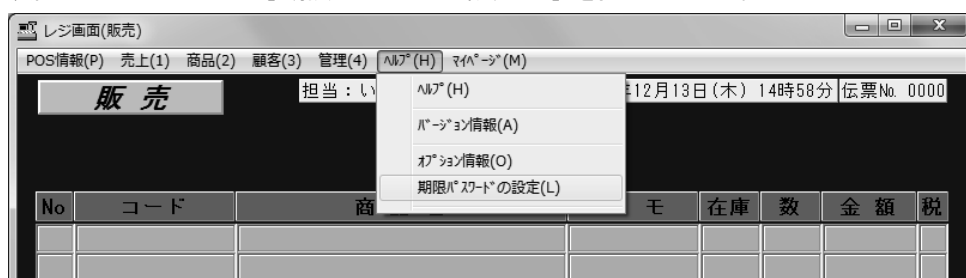
[開始メニュー] より [レジ画面起動] を押します。



■ 手順 2

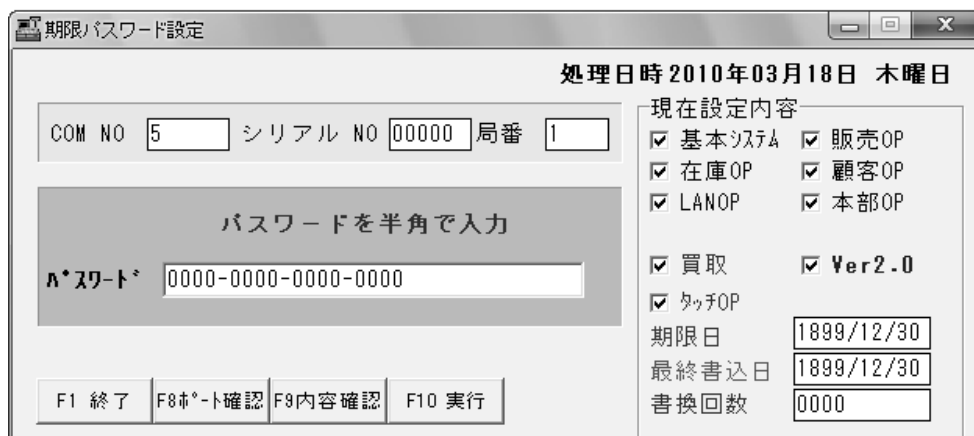
[レジ画面] 上部メニューバー [ヘルプ (H)] を押します。

展開されたメニュー内の [期限パスワードの設定 (L)] を押してください。



■ 手順 3

[期限パスワード設定] 画面の中央 [パスワード] 入力欄に、弊社より郵送された「期限パスワード」を入力して [F10 実行] を押してください。



※ご注意※ 期限パスワードはロックスター（ソフトの鍵）が接続されていないと設定できません。
また、期限パスワードは 1 日に 10 回しか入力実行できませんのでご注意ください。



BCPOS Ver2.9-3.0 動作環境

BCPOS の動作環境は以下のとおりです。

	最低	推奨
OS	WindowsVista , Windows7 (32Bit)	
CPU	Celeron 2GHz 以上	Core2Duo 2GHz 以上
メモリー	1GB 以上	2GB 以上
ハードディスク空き容量	15GB 以上	30GB 以上
ディスプレイ	800 × 600px 以上	
バーコードリーダー	ビジコム : BCN-1000U (USB または PS/2 タイプ使用)	
対応カスタマディスプレイ	ビジコム : BC-VF シリーズ (EPSON : DM-D110、210 シリーズ準拠品)	
対応キャッシュドロワ	ビジコム : BC-DW シリーズ (6 ピンモジュラータイプ、RS-232C タイプ)	
対応レシートプリンター	富士通アイソテック : FP-1100 スター精密 : TSP100 シリーズ (注 1) EPSON : TM - T 88 ~ V シリーズ (注 2)	

※各 64Bit 版、Windows7 starter は非対応です。

注 1 : スター精密 : TSP100 シリーズの LAN タイプは未対応です。

注 2 : EPSON : TM - T 88 ~ V シリーズの USB ・ LAN タイプは未対応です。

※外部機器を接続する場合、シリアルポートのあるものを推奨します。

無い場合には別途 USB シリアル変換コードが必要になりますのでお問い合わせ下さい。

ご注意

○本書及びこのプログラムは著作権上、無断で使用・複製することはできません。

○本製品の内容について万が一不備な内容がございましたら下記までご連絡ください。

○本書及びこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがございます。

BCPOS は株式会社ビジコムの登録商標です。

Windows7, WindowsVista, WindowsXP は米国マイクロソフト社の登録商標です。

その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です。

BCPOS ユーザーズガイド (PC リブレース版)

初版 2013 年 9 月

発行 株式会社ビジコム

Web : <http://www.busicom.co.jp/>

E-Mail : info@busicom.co.jp